



## 2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月8日

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェンツ・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 2021年1月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,327	1.0	410	34.8	462	47.8	302	43.9
2020年2月期第3四半期	2,350	2.3	304	2.1	313	1.7	210	10.7

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 337百万円 (60.1%) 2020年2月期第3四半期 210百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	7.13	7.09
2020年2月期第3四半期	5.08	4.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	3,677	3,097	84.2	71.53
2020年2月期	3,311	2,665	80.2	64.29

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 3,097百万円 2020年2月期 2,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		3.50	3.50
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,482	8.7	489	12.8	490	10.7	323	12.6	7.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	45,597,183 株	2020年2月期	42,521,884 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	2,291,635 株	2020年2月期	1,226,852 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	42,465,078 株	2020年2月期3Q	41,387,707 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続きました。今後も新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

このような経済状況の下、住宅ローン実行に係る当社サービスの利用件数が堅調に推移しているほか、不動産流通市場においても、新型コロナウイルス禍で非対面スタイルが強みに転じ、当社グループが提供するサービスへの引き合いも増加しております。

当第3四半期連結累計期間においては、不動産オークション事業が低調となったものの、エスクローサービス事業が堅調に推移いたしました。また、業務の効率化を推進して人件費の削減に努めたほか、投資事業組合運用益により、営業利益および経常利益、四半期純利益はいずれも前年同期比で増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は2,327,529千円（前年同期比1.0%減）、営業利益は410,195千円（前年同期比34.8%増）、また、営業外収益に投資事業組合運用益49,807千円を計上したことにより経常利益は462,847千円（前年同期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は302,633千円（前年同期比43.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業においては、不動産取引に係る司法書士をはじめとした専門家、金融機関、不動産事業者に対し、取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与するASPサービス等の各種支援システム等により、業務の効率化を提案しております。また株式会社エスクロー・エージェンツ・ジャパン信託での信託サービス、相続手続き代行サービスでは信託口座の利用による決済の安全確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大で、個人のインターネットバンキングの利用が拡大傾向にあり受注が増加いたしました。また、非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」についても前年と比較して利用件数が大幅に増加しております。

以上の結果、セグメント売上高は740,524千円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は576,951千円（前年同期比11.5%増）となりました。

#### (BPO事業)

BPO事業においては、金融機関における住宅ローン融資に係る事務の受託をはじめとした、金融機関等の業務上の課題を解決するための事務合理化及びコスト節減ニーズに応じたサービスの提供をしております。また、子会社の株式会社中央グループでは、建築設計サービスや不動産鑑定サービス、連携する司法書士、土地家屋調査士等の専門家への業務支援や、建設事業者向けに様々なコンサルティングサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社の株式会社中央グループにおける専門家支援業務が減少した一方、当社の不動産・建設事業者向けサービスにおいて新規取引先からの受注が伸びいたしました。

以上の結果、セグメント売上高は1,423,526千円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は302,630千円（前年同期比12.1%増）となりました。

#### (不動産オークション事業)

不動産オークション事業においては、主に税理士等の専門家からの依頼に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産取引の機会の場を提供しております。これにより売買後のトラブルや紛争を未然に回避することができ、取引価格については入札方式を採用することによって、透明性の高い価格形成が可能となり、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業活動が制限されたことで案件進捗に遅れが生じ、オークションによる決済は低調な推移となりました。

以上の結果、セグメント売上高は163,479千円（前年同期比48.8%減）、セグメント利益は12,835千円（前年同期比79.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,149,553千円となり、前連結会計年度末と比較して453,505千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が415,853千円増加したことによるものであります。固定資産は527,980千円となり、前連結会計年度末と比較して87,467千円の減少となりました。これは主に、長期預金100,000千円が流動資産へ振替となったことに加え、繰延税金資産が22,180千円減少した一方、保有する投資有価証券の時価が上昇したことにより投資有価証券が34,817千円増加したこと、またソフトウェア開発に係るソフトウェア仮勘定の計上が23,260千円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は3,677,533千円となり、前連結会計年度末と比較して366,037千円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は438,625千円となり、前連結会計年度末と比較して71,722千円の減少となりました。これは主に、買掛金が21,175千円、賞与引当金が24,380千円減少したこと等によるものであります。固定負債は141,306千円となり、前連結会計年度末と比較して5,387千円の増加となりました。

以上の結果、負債合計は579,932千円となり、前連結会計年度末と比較して66,334千円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,097,601千円となり、前連結会計年度末と比較して432,372千円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得が194,682千円、剰余金の配当が144,532千円あった一方、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬の付与による新株発行により資本金が222,417千円、資本準備金が222,417千円増加したほか、その他有価証券評価差額金が34,522千円増加したこと、また親会社株主に帰属する四半期純利益が302,633千円であったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は84.2%（前連結会計年度末は80.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結通期業績予想につきましては、2020年4月9日公表の「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,235,059	2,650,913
売掛金	371,978	418,551
その他	90,812	81,778
貸倒引当金	△1,802	△1,690
流動資産合計	2,696,048	3,149,553
固定資産		
有形固定資産	101,121	89,108
無形固定資産	144,006	156,830
投資その他の資産	370,319	282,041
固定資産合計	615,447	527,980
資産合計	3,311,495	3,677,533
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,560	93,384
未払法人税等	103,144	93,071
賞与引当金	50,316	25,936
その他	242,326	226,233
流動負債合計	510,348	438,625
固定負債		
資産除去債務	34,622	34,622
退職給付に係る負債	35,976	37,468
その他	65,319	69,215
固定負債合計	135,918	141,306
負債合計	646,266	579,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	422,379	644,797
資本剰余金	537,219	759,637
利益剰余金	2,048,518	2,206,618
自己株式	△353,589	△548,271
株主資本合計	2,654,528	3,062,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	296	34,819
その他の包括利益累計額合計	296	34,819
新株予約権	10,404	—
純資産合計	2,665,229	3,097,601
負債純資産合計	3,311,495	3,677,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,350,354	2,327,529
売上原価	1,220,519	1,204,697
売上総利益	1,129,835	1,122,832
販売費及び一般管理費	825,518	712,636
営業利益	304,316	410,195
営業外収益		
受取利息	191	24
受取賃貸料	12,884	12,000
投資事業組合運用益	—	49,807
違約金収入	8,820	—
その他	3,866	3,737
営業外収益合計	25,762	65,569
営業外費用		
支払利息	200	117
賃貸費用	11,408	9,890
投資事業組合運用損	4,983	—
株式交付費	206	1,743
その他	119	1,166
営業外費用合計	16,917	12,918
経常利益	313,161	462,847
特別利益		
新株予約権戻入益	—	238
特別利益合計	—	238
税金等調整前四半期純利益	313,161	463,085
法人税、住民税及び事業税	106,485	144,700
法人税等調整額	△3,587	15,750
法人税等合計	102,897	160,451
四半期純利益	210,264	302,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,264	302,633

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	210,264	302,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	34,522
その他の包括利益合計	266	34,522
四半期包括利益	210,531	337,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,531	337,155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月16日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月17日から2020年6月4日までに自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が194,682千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が548,271千円となっております。

また、新株予約権の行使に伴い、資本金および資本剰余金がそれぞれ222,417千円増加した結果、資本金が644,797千円、資本剰余金が759,637千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オー クシオン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	663,807	1,367,253	319,294	2,350,354	—	2,350,354
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	663,807	1,367,253	319,294	2,350,354	—	2,350,354
セグメント利益	517,635	269,855	62,136	849,627	△545,311	304,316

- (注) 1. セグメント利益の調整額△545,311千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オー クシオン	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	740,524	1,423,526	163,479	2,327,529	—	2,327,529
セグメント間の内 部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	740,524	1,423,526	163,479	2,327,529	—	2,327,529
セグメント利益	576,951	302,630	12,835	892,417	△482,221	410,195

- (注) 1. セグメント利益の調整額△482,221千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。